梅山女学園大学附属小学校・PTA　2015.12.22

Sugiyama
人間になろう

小学校だより

Vol.131

ラグビーワールドカップ二〇一五

梅山女学園大学附属小学校長　河野　庸介

平成二十七年九月二十日(日)、まさに歴史的快挙！それは日本のラグビーファンにとっては歓喜に打ち震える瞬間であった。ジャパン(ラグビー日本代表)があのスプリングボクス(同南アフリカ代表)に勝ったのである(三十四対三十二)。第三回大会でのオールブラックス(同ニュージーランド代表)戦同様百点以上の差(十七対百四十五)で負けるものと思っていた。それは最も番狂わせの少ない競技と言われるラグビー史上空前の「事件」であった。あり得ないことが起こったのである。ロスタイムでの劇的なトライ！それもほぼ確実に同点となるペナルティーキック(あの五郎丸歩選手のキック！)を選択せず、勝利への執念が実っての逆転トライ。日本ラグビーの歴史を変えるのだ！との思いでリーチ主将と共に四年間のハードな練習に耐えてきた男たちの雄叫びが、イギリスはブライトン・コミュニティ・スタジアムに響きわたったのである。ベスト八進出こそならなかったものの、ラグビーワールドカップ二〇一五で最も勇敢で最も不運な戦士たちと称えられたジャパンの選手たち。まさにブレイブブロッサムズ(戦う桜の戦士たち)である。

―興奮未だ冷めやらずどこまでも書き連ねたくなる気持ちを抑えるために、ジャパンのこれからに期待を込めつつ深呼吸して話題転換、ほんの少しですが。―

さてラグビーと言えば「One for All, All for One」(一人はみんなのために、みんなは一人のために)という言葉が有名である。きっと四年後に日本で開催される第九回ラグビーワールドカップに向けて、この言葉を耳にする機会が多くなることと思われる。「一人一人はクラスのために、クラスのみんなは一人の友達のために」。学校や会社のように個と集団の関係が強く意識される世界ではよりこの言葉がもてはやされよう。そこで改めて「One for All, All for One」である。フランスの作家アレクサンドル・デュマの『三銃士』に出てくるこの言葉は、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」と理解するよりも、「一人はみんなのために、みんなは勝利のために」と解釈した方がよいという指摘がある。「集団」を考える際にその構成員の和を求めることを優先するのと、「集団」であるからにはその集団が求めるもの(目標：勝利)の実現を第一とする考え方との違いが感じ取れて興味深い。「個」が「集団」のために力を尽くし、そこに形成された「集団」が「個」に寄り添っていくという温かな人間関係を求めるのか、自立した「個」が「集団」を形成し、その「集団」が「勝利」を求めていく中で一人一人の「個」が鍛えられ成長していくことを重視するのか。有名な言葉であるだけにその解釈もまた多様なのかも知れない。

そして、今一つ忘れられない言葉がラグビーにはある。それは「ラグビーは少年を大人にし、大人に少年の心を忘れさせない」である。(女子ラグビーも徐々に盛んになってきた今日、少年を少女と読み替えるのは当然である。)ラグビーのように、厳格なルールのもとで精神的にも肉体的にも厳しい練習や試合を体験することは、子供たちにまず自分自身が自立し、安全にかつ力強くプレーできるだけの能力を身に付けることを要求する。ラグビーの試合は、原則としてどんな悪天候のもとでも開催されるのである(あぁ、あの「雪の明早戦」の壮絶な美しさ！)。まさに「雨が降ろうが槍が降ろうが」である。言い訳も弁解も無用の世界である。ただ与えられた条件の中で自分の全力を尽くす。どんなに厳しい環境であろうとも、自分の力を信じて両足で大地に踏ん張り、仲間と共に戦っていく経験、それは少年から大人へと成長していく道程そのものであろう。一方、肉体と肉体をぶつけ合い、ボールを奪い相手を蹴散らしつつゴールを目指すという単純で野性的な競技は、複雑な人間関係のもとに逡巡や後悔を繰り返している現代の大人に、心の底に眠っていた少年時代の覇気を蘇らせるに違いない。

「人間になろう」という教育理念のもと、日々、知・徳・体のそれぞれにおいて努力を重ねている梅小の子供たちではあるが、「知」の面だけではなく「徳」や「体」の面でも大人へと続く豊かな心の育成をより確かなものとするために、厳しい鍛錬の日々を体験させる必要があろう。また、指導する立場にある私たち教員も少年のような柔軟で新鮮な心をもって子供たちに接していかなくてはなるまい。そして保護者の方々のご協力もいただきながら、明るく凛とした美しさを備えた子供たちを育てる小学校を作り上げていきたいと思う。

第八回ラグビーワールドカップの華・ブレイブブロッサムズと素晴らしきラグビー、そして、輝かしい歴史と伝統を誇る梅山女学園大学附属小学校。まだまだ書き続けたいのですが、ここで「ノーサイド」です。

特集 梅ニコちゃんの誕生と梅ニコグッズ P2
学期のトピックス P3 /委員会・部活動報告 P4 / 学期の記事 P5
学年トピックス P6~P17
PTA P18、P19 /職員の諸活動・学園トピックス・編集後記 P20

CONTENTS